

平成 23 年度

地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 地球温暖化対策事業者の概要

(1) 事業者の類別

類別	(類別の説明)
Ⅱ類	Ⅰ類 A事業所のみを有する特定事業者
	Ⅱ類 B事業所を有する特定事業者（Ⅲ類の事業者を除く）
	Ⅲ類 C事業所を有する特定事業者
	Ⅳ類 任意事業者

(2) 地球温暖化対策事業者

事業者名	AGS株式会社	
所在地	埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-11	
事業者番号	0057	
燃料等使用量の 原油換算の合計量 (前年度)	3,062	kl/年
大規模小売店舗面積 (10,000m ² 以上の場合)		m ²
産業分類名 (中分類)	情報サービス業	
分類番号 (中分類)	39	
事業活動の概要 (事業内容、従業員数、資本金等)	事業内容 : 情報処理サービス ソフトウェア開発 その他情報サービス システム機器販売 従業員数 : 664名 延べ床面積 : 12,307.08m ²	
商標又は商号 (連鎖化事業者のみ)		

(3) 地球温暖化対策推進者（事業者で1人以上）

所属部署	電話番号
総務部	048-825-6217

（４）県内に設置している事業所

※書ききれない場合は別添としてください。

事業所番号	事業所名	前年度の原油換算エネルギー使用量(k l)
単独で1500kL以上の事業所		
005701	本社	2,901
1500kL未満の事業所の合算		
005700		161
合計		3,062

（５）公表方法

<input checked="" type="checkbox"/> インターネット利用による公表	アドレス	http://www.ags.co.jp/csr/environment/index.html
<input checked="" type="checkbox"/> 事業所での備え置き (複数可 書ききれない場合は別様としてください)	閲覧場所 1	本社
	所在地 1	埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷 4-2-11
	閲覧可能時間 1	平日 8:40~17:20
	閲覧場所 2	
	所在地 2	
	閲覧可能時間 2	
<input type="checkbox"/> その他		

（６）公表の担当部署

名称 (複数可)	連絡先		
	電話番号	FAX番号	E-mailアドレス
1 総務部	048-825-6067	048-825-6219	ags-ga.mg@ags.co.jp
2			
3			

（７）県による公表希望（IV類（任意事業者）のみ記入）

県による報告書の公表を希望

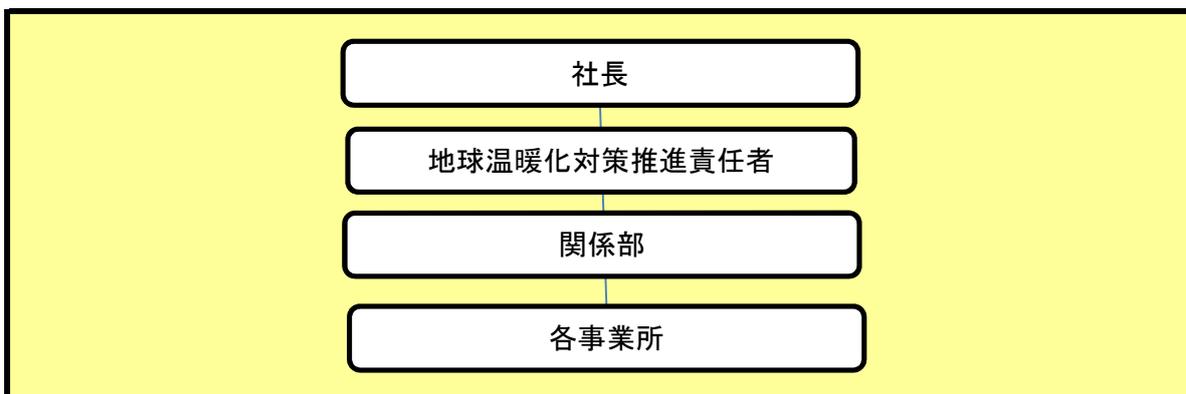
2 地球温暖化対策推進における基本方針 ※事業所ごとに定める場合は、事業所用に記載する旨を記載

AGSグループは、「ITで夢のある社会づくり」を使命とする企業理念のもとに、環境保全と事業活動の調和を図り、持続的発展が可能な社会の実現に貢献します。

企業理念に基づき、次の環境マネジメント活動を実施する。

1. すべての事業活動において、省資源、省エネルギー、廃棄物の削減を推進する。
2. AGSグループが提供するソリューションや各種商品・サービスを通じて、お客様の環境への負荷軽減に貢献する。
3. 基本方針を達成するため、環境目的・目標を設定し、AGSグループ全社員をあげて環境マネジメントを推進する。

3 地球温暖化対策における推進体制 ※事業所ごとに定める場合は、事業所用に記載する旨を記載



4 計画期間中における事業者の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算（t-CO₂）

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
エネルギー起源CO ₂	4,787				
非エネルギー起源CO ₂					
その他温室効果ガス					

5 各事業所の計画

別紙 事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告 のとおり

平成 23 年度

事業所番号

005700

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	A 原油換算エネルギー使用量が年間1,500kL未満の事業所（合算）
A	

(2) 事業所及び事業活動

代表事業所名	国保会館	事業所数	2
代表事業所所在地	埼玉県さいたま市中央区大字下落合1704		
原油換算エネルギー使用量(kℓ)（前年度）	161		
産業分類名（中分類）	情報サービス業		
分類番号（中分類）	39		
事業活動の概要 <small>（事業内容、従業員数、敷地面積、延べ床面積等）</small>	事業内容：ソフトウェア開発 システム機器販売 従業員数：247名 延べ床面積：2660.91㎡		
商標又は商号 <small>（連鎖化事業者のみ）</small>			

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 削減目標

計画期間	23年度	～	26年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ （必須）	平成21年度の排出量原単位を基準として、平成26年度までに原単位5%改善する。	
	その他ガス		

事業所リスト(複数の事業所がある場合のみ)

番号	事業所名	所在地
1	AGS株式会社 国保会館	埼玉県さいたま市中央区大字下落合1704
2	AGS株式会社 浦和SC (今年度より 報告対象)	埼玉県さいたま市南区沼影1-13-1 ナリア・テラス3階
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

3 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算（t-CO₂）

		計画期間前		計画期間			
		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
エネルギー起源CO ₂	目標		113	240	238	236	234
	実績	127	242				
その他ガス	非エネルギー起源CO ₂	目標					
		実績					
	メタン	目標					
		実績					
	一酸化二窒素	目標					
		実績					
	ハイドロフルオロカーボン	目標					
		実績					
	パーフルオロカーボン	目標					
		実績					
	六フッ化硫黄	目標					
		実績					
温室効果ガスの合計		目標	113	240	238	236	234
		実績	127	242			

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況（エネルギー起源CO₂）

CO₂換算（t-CO₂/指標）

		計画期間前		計画期間			
		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位	目標		0.1192	0.0900	0.0894	0.0887	0.0879
	実績	0.1338	0.0910				
活動規模の指標	<input type="radio"/> 生産量 [単位 t/年]						
	<input type="radio"/> 出荷額 [単位 t/年]						
	<input type="radio"/> 従業員数 [単位 人]						
	<input checked="" type="radio"/> 床面積 [単位 m ²]	951.99	2660.91	2660.91	2660.91	2660.91	2660.91
	<input type="radio"/> [単位]						

4 燃料等使用量及び温室効果ガス排出量

別紙1-1、1-2号

5 温室効果ガス排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

別紙2号

6 温室効果ガスの過年度における推移

別紙3号

7 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

別紙4号

国保会館

No	対策の区分		対策名称	実施時期	備考	
	区分番号	区分名称				
		大区分				中区分
1	180200	その他	18_その他	OCR機の運用方法見直しによる機器台数の削減	平成22年	
2	180200	その他	18_その他	デスクトップPCをノートPCへ切替	平成23年	順次実施
3	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	省エネルギータイプの照明器具（LED等）の導入	平成23年	順次実施
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

(※希望者のみ記載)

国保会館

自由記述欄

AGSグループの平成22年度の環境分野への取組は以下のとおりである。

1. 地域環境活動

(1) 自然環境活動（植林活動）
 昨年度に引き続き「埼玉県森林づくり協定」に基づき、「AGS四季彩の森」に苗木の480本の植林活動を推進。
 また、埼玉県が平成22年度より創設した「埼玉県森林CO2吸収量認証制度」により、埼玉県森林CO2吸収量認証を取得しています。

2. 環境管理活動

(1) 啓蒙活動の実施
 環境負荷軽減の一環として、毎年省エネ啓蒙活動を実施しています。

平成22年度は特に下記事項を実施しました。

①省エネ標語の募集と掲示
 省エネ意識を啓発するため、AGSグループ社員に省エネ対策啓発標語を公募しました。
 優秀作品27作品を選出し、各部署に掲示しました。
 また、温度計、湿度計も各部署に設置し、省エネ意識向上を図っています。

②省エネヒントの公開
 また、節電への意識向上を図るため、省エネを行った場合の節電効果及び経費削減効果を社内グループウェアに掲載しています。

3. その他

(1) ハイブリッド車への変更
 燃費性能の優れた自動車へ推進として平成22年度はハイブリッド車に3台変更しています。

(2) 3R推進宣言
 循環型社会の実現を目指し、埼玉県が平成22年度に促進した「3R活動 [リデュース（ごみの発生抑制）、リユース（再使用）、リサイクル（再生利用）]」の推進を努めるべく、平成22年11月に3R推進宣言を致しました。

県が定める係数以外の電気の排出係数を用いた場合のエネルギー起源CO2排出量（22年度）

排出係数 (t-CO2/千kWh)	係数の根拠	エネルギー起源CO2 排出量(t-CO2)

平成 23 年度

事業所番号

005701

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	原油換算エネルギー使用量が年間1,500k1以上の事業所 (種別Cの事業所を除く)
B	

(2) 事業所及び事業内容

事業所名	本社		
所在地	埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-11		
当該事業所を含む事業所の名称	さくら浦和ビル		
直近3年のエネルギー 原油換算使用量(kℓ)	20年度	21年度	22年度
	2,632	2,814	2,901
産業分類名(中分類)	情報サービス業		
分類番号(中分類)	39		
事業活動の概要 (事業内容、従業員数、 敷地面積、延べ床面積等)	事業内容 : 情報処理サービス ソフトウェア開発 その他情報サービス システム機器販売 従業員数 : 417名 延べ床面積 : 9,649.09㎡		

(3) 地球温暖化対策推進者(事業所に推進者がいる場合)

所属部署	電話番号
総務部	048-825-6067

2 事業所の地球温暖化対策推進における基本方針(事業所で定めている場合)

--

3 事業所の地球温暖化対策における推進体制（事業所で定めている場合）

--

4 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 削減目標

計	画	期	間	23	年度	～	26	年度
削減目標		エネルギー起源CO ₂ (必 須)		平成21年度の排出量原単位を基準として、平成26年度までに原単位5%改善する。				
		そ ガ	の 他 ス					

5 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算 (t-CO₂)

		計画期間前		計画期間			
		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
エネルギー起源CO ₂	目標		4,511	4,640	4,720	4,710	4,700
	実績	4,420	4,545				
その他ガス	非エネルギー起源CO ₂	目標					
		実績					
	メタン	目標					
		実績					
	一酸化二窒素	目標					
		実績					
	ハイドロフルオロカーボン	目標					
		実績					
	パーフルオロカーボン	目標					
		実績					
	六フッ化硫黄	目標					
		実績					
温室効果ガスの合計		目標	4,511	4,640	4,720	4,710	4,700
		実績	4,420	4,545			

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況 (エネルギー起源CO₂)

CO₂換算 (t-CO₂/指標)

		計画期間前		計画期間			
		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位		目標	1.9647	1.8500	1.8000	1.7900	1.7800
		実績	2.1644	1.9226			
活動規模の指標	<input type="radio"/> 生産量 (単位 t)						
	<input type="radio"/> 出荷額 (単位)						
	<input type="radio"/> 従業員数 (単位)						
	<input type="radio"/> 床面積 (単位)						
	<input checked="" type="radio"/> (CVCF排出量) (単位 t-CO ₂)		2042	2364			

6 燃料等使用量及び温室効果ガス排出量
別紙1-1、1-2号

7 温室効果ガス排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況
別紙2号

8 過年度における温室効果ガスの推移
別紙3号

9 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価
別紙4号

別紙2号 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

本社

No	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	180200	その他	18_その他	CPU運用見直しによる削減	平成22年	
2	180200	その他	18_その他	社内サーバの統合	平成22年	
3	180200	その他	18_その他	執務室集約化に伴う不要スペースの排除	平成22年	
4	180200	その他	18_その他	大型プリンターの運用見直しによる削減	平成22年	
5	180200	その他	18_その他	デスクトップPCをノートPCへ切替	平成22年	順次実施
6	120200	熱源設備・熱搬送設備	12_冷凍機の効率管理	既設ターボ冷凍機2台を高効率機に更新	平成23年、 平成24年	オーナーの対策
7	120100	熱源設備・熱搬送設備	12_燃焼設備の管理	蒸気供給先を見直し、ボイラを小型高効率機に更新	平成23年	オーナーの対策
8	140100	給湯設備、給排水設備、冷凍冷蔵設備、厨房設備	14_給湯設備の管理	蒸気を使用した中央給湯方式から、電気を利用した個別給湯方式に変更	平成22年	オーナーの対策
9	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	省エネルギータイプの照明器具（LED等）の導入	平成23年	
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙3号 温室効果ガスの過年度における推移

本社

(1) 温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算 (t-CO₂)

		14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
基準年度										
燃料等使用量の原油換算量 (kL)		0	0	0	0	2,545	2,611	2,632	2,814	2,901
エネルギー起源CO ₂		0	0	0	0	4,023	4,115	4,143	4,420	4,545
その他ガス	非エネルギー起源CO ₂	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	メタン	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一酸化二窒素	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハイドロフルオロカーボン	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	パーフルオロカーボン	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	六フッ化硫黄	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		0	0	0	0	4,023	4,115	4,143	4,420	4,545

(2) 温室効果ガス排出量原単位 (エネルギー起源CO₂)

CO₂換算 (t-CO₂/指標)

		14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
基準年度									○	
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位						3.9170	3.2024	2.4132	2.1644	1.9226
活動規模の指標	○ 生産量 [単位]									
	○ 出荷額 [単位]									
	○ 従業員数 [単位]									
	○ 床面積 [単位]									
	● (CVCF排出量) [単位 t-CO ₂]					1027	1285	1717	2042	2364

(※希望者のみ記載)

本社

自由記述欄

AGSグループの平成22年度の環境分野への取組は以下のとおりである。

1. 地域環境活動

(1) 自然環境活動（植林活動）

昨年度に引き続き「埼玉県森林づくり協定」に基づき、「AGS四季彩の森」に苗木の480本の植林活動を推進。

また、埼玉県が平成22年度より創設した「埼玉県森林CO2吸収量認証制度」により、埼玉県森林CO2吸収量認証を取得しています。

2. 環境管理活動

(1) 啓蒙活動の実施

環境負荷軽減の一環として、毎年省エネ啓蒙活動を実施しています。

平成22年度は特に下記事項を実施しました。

①省エネ標語の募集と掲示

省エネ意識を啓発するため、AGSグループ社員に省エネ対策啓蒙標語を公募しました。

優秀作品27作品を選出し、各部署に掲示しました。

また、温度計、湿度計も各部署に設置し、省エネ意識向上を図っています。

②省エネヒントの公開

また、節電への意識向上を図るため、省エネを行った場合の節電効果及び経費削減効果を社内グループウェアに掲載しています。

3. その他

(1) ハイブリッド車への変更

燃費性能の優れた自動車へ推進として平成22年度はハイブリッド車に3台変更しています。

(2) 3R推進宣言

循環型社会の実現を目指し、埼玉県が平成22年度に促進した「3R活動 [リデュース（ごみの発生抑制）、リユース（再使用）、リサイクル（再生利用）]」の推進を努めるべく、平成22年11月に3R推進宣言を致しました。

県が定める係数以外の電気の排出係数を用いた場合のエネルギー起源CO2排出量（22年度）

排出係数 (t-CO2/千kWh)	係数の根拠	エネルギー起源CO2 排出量(t-CO2)